



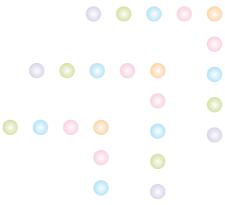
株主のみなさまへ

報告書

平成18年4月1日▶平成19年3月31日















昭和産業株式会社 証券コード●NO.2004●











代表取締役社長 横澤正克

株主の皆様には平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申しあげます。ここに第106期(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)の事業概況をご報告申しあげます。

当期の我が国経済は、原油価格の高騰や金利の上昇など懸念材料があったものの、好調な企業収益によって設備投資が増加し、また、雇用情勢の改善に広がりがみられるなど、景気はこれまでの回復基調を維持してまいりました。

しかしながら、食品業界におきましては、需要の増加に伴う原料価格の高騰、 少子化による食料消費量の飽和、食の安心・安全に対する不信など対処すべき 多くの課題を抱え、市場環境は依然として厳しいものとなりました。

このような状況の中で、当グループは、中期計画「SHOWA-ism計画06-08」を平成18年より始動させ、グループ経営の改革・強化や企業の社会的責任 (Corporate Social Responsibility) の推進に努めてまいりました。

これらの結果、連結売上高は1,776億68百万円と、前期より22億96百万円 (1.3%) の増収となりましたが、経常利益は35億1百万円と、前期より18億79百万円 (34.9%) の減益となりました。また、当期純利益は、特別損失に子会社整理引当損や減損損失を計上したことなどから10億57百万円と、前期より21億46百万円 (67.0%) の減益となりました。

今後の我が国経済は、原油価格や為替相場の動向など懸念材料もありますが、 好調な企業収益に支えられた設備投資の増加・雇用環境の改善等により、引き 続き景気は堅調に推移すると予想されます。

しかしながら、今後の食品業界におきましては、食の安心・安全への社会的 関心が高まったことから、さらなる食品衛生管理体制の充実が求められる一方 で、バイオディーゼル燃料(BDF)需要に起因する原料価格の高騰問題を抱え る等、市場環境は依然として厳しいものと予想されます。

このような状況のなかで、当グループといたしましては、「人々の健康で豊かな食生活に貢献する」という経営理念の下、生産体制の改革・品質管理の徹底を図り、中期計画「SHOWA-ism計画06-08」の達成に向けて、これまでの成果と課題を踏まえながら、「改革の実現」、「経営基盤の強化」、「グループ経営の強化・向上」、「企業の社会的責任(CSR)の推進」に邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。



第106期連結決算ハイライト





当期におけるポイント

単収・減益

(㈱スウィングベーカリー、、㈱オーバン、昭産運輸㈱の3社を新たに連結対象としたことなどにより売上高は 増加したが、原料穀物相場の高騰の影響などにより減益となった。

● 事業別の状況

・食 品 事 業:新たに連結対象とした2社の売上増加分等により増収となるも、焼き立てパン事業開始に伴うコスト負担や原料穀物相場高騰の影響などにより減益。

・飼料事業:前期から続いていた鳥インフルエンザの影響も当下期には回復し、オリゴ糖飼料製品の拡販などにもより増収・増益。

・倉庫事業:穀物サイロ業において荷役量の安定確保に取り組み増収となったが、自社扱い貨物の荷役・回転率悪化により減益。

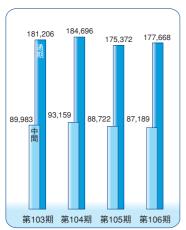
・その他事業:不動産関連で一部契約終了などにより賃貸収入が減少したが、経費削減などにより増益。

○ 子会社に関する損失計上を実施

グループ財務基盤強化のため、子会社に関する貸倒引当金、減損損失など特別損失を計上した。

連結業績の推移

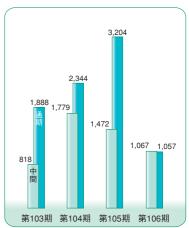
■売上高(百万円)



経常利益(百万円)



■当期純利益(百万円)

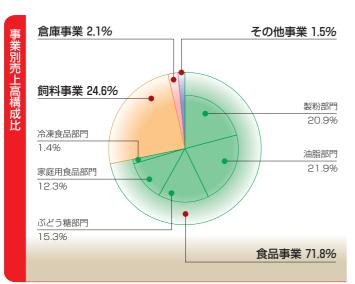


事業別の状況









食品事業 ●●●

食品事業全体での売上高は、1,275億61百万円(前期 比0.7%増)となりました。

■製粉部門

小麦粉は、きめ細かな提案型の営業活動を展開しましたが、需要低迷が響き、販売数量は減少しました。プレミックス類は、新製品の投入や講習会の開催などによる販売促進活動を進めた結果、販売数量は微増しました。ふすまについては、海外穀物相場の上昇基調が続いたことにより、販売価格は堅調に推移しました。なお、当期より新連結子会社 株式会社スウィングベーカリーにおいて『焼き立てパン事業』を開始しております。

これらの結果、売上高は371億12百万円(前期比 2.4%増)となりました。

■油脂部門

食用油は、世界的なバイオディーゼル燃料(BDF)の需要増加や豪州産菜種の不作による穀物原料価格の高値推移に加え、海上運賃等のコスト上昇が続き厳しい環境での販売を余儀なくされました。このような状況の下、従来からの採算重視の販売と共に、業態別ユーザー対応の販売を強化した結果、販売数量は前年を上回ることができました。業務用食材はパスタが低調だったものの、天ぷら粉は中食市場、特にスーパー向け惣菜への強化・注力を進めた結果、前年を維持することができました。

なお、当期より新連結子会社 株式会社オーバンに おけるファーストフード店向け業務用食材の売上高も 実績に含めております。

これらの結果、売上高は389億54百万円(前期比 6.7%増)となりました。

■ぶどう糖部門

糖化製品の販売数量は、昨年夏の天候不順によって 清涼飲料水・発泡酒向け製品が不調に終わったため、 異性化糖は前年並みにとどまり、水あめは前年を下回 りました。一方、粉末水あめ等の機能性商品の販売数

1,275億61百万円(前期比0.7%增)

量は、提案型営業の強化により前年を上回りました。また、乾燥でん粉の販売数量はビール向け製品などが好調に推移し前期を上回りました。製品価格に関しては、海上運賃の上昇、原料とうもろこしの価格高騰、為替相場の円安等によるコスト増を吸収すべく価格改定に努めた結果、糖化製品・乾燥でん粉共に前年を上回りました。

これらの結果、売上高は272億12百万円(前期比 2.6%増)となりました。

■家庭用食品部門

家庭用食品部門は、収益を重視した営業活動を行いました。食用油は、穀物相場が高騰する中、適正価格での販売と前年並みの数量の確保に努めました。オレインリッチは消費者キャンペーンを行うなど拡販を図り、前年数量を維持しました。小麦粉加工品は、市場競争が激化する中、主力の天ぷら粉、お好み焼き粉、ホットケーキミックス等について年間計画に基づいた提案型の企画営業を行うことで、拡販を図りました。また、料理体験を通じての食育活動に着目し、『手作りおやつ工房』をシリーズ化した結果、市場を開拓することができました。ギフトセットは市場が縮小する中、オレインリッチギフトを中心に販売を行いましたが、数量は減少しました。連結子会社 昭産商事株式会社では、家庭用米や調味料・香辛料等の販売数量が前期を下回りました。

これらの結果、売上高は217億71百万円(前期比 11.1%減)となりました。

■冷凍食品部門

冷凍食品の販売は、たこ焼きなどコンビニエンスストア向けのスナック商品は好調に推移しましたが、惣菜向け商品の販売数量が伸び悩みました。

この他に、当期より株式会社オーバンが連結対象会社となり内部取引消去の影響もあり、売上高は25億11百万円(前期比14.8%減)となりました。

飼料事業●● 436億25百万円 (前期比3.3%増)

配合飼料の販売は、引き続き利益率を重視した活動を 展開してまいりました。養鶏用飼料は、関東地区で発生 した鳥インフルエンザの影響により上半期では一時的に販売数量が 減少しましたが、下半期には鶏の再導入が進み、従来の販売数量に 回復しました。その他の販売活動では、関東地区では鶏卵販売と連 携した養鶏用飼料の販売に注力し、四国地区を中心に魚餌の拡販に 努め、また前年度に引き続き全国展開でオリゴ糖飼料製品の拡販に 努めました。これらにより、配合飼料全体の販売数量は前期を上回 りました。配合飼料の販売価格は、穀物原料価格の高騰に伴い下半 期中に二度の大幅な値上げを実施し、前期を上回りました。

これらの結果、配合飼料の売上高は前期を上回りました。

鶏卵は、販売数量は前期並みに推移しましたが、鶏卵相場が前期を下回り減収となりました。

飼料事業全体では、売上高は436億25百万円(前期比3.3%増)となりました。

倉庫事業 ● ● ● 38億10百万円 (前期比5.1%増)

穀物サイロ関連では、政府所有小麦および搾油用大豆の備蓄削減による保管積数の減少などの影響を受けるなか、主要取引先の貨物安定確保に取り組み、また当社の強みである全国有数の荷役能力を活かした営業活動を展開した結果、荷役量が増加し売上高は増収となりました。株式会社ショウレイにおける冷凍倉庫業務では、荷役量の減少により売上高は減収となりました。

これらの結果、売上高は38億10百万円(前期比5.1%増)となりました。

その他事業 ● ● ■ 26億71百万円 (前期比4.9%減)

不動産関連では、事業用建物などの賃料収入が旧鶴見工場での建物賃貸が前期途中で一部終了したことなどにより減少しました。また、旧札幌支店跡地で実施した分譲マンション事業が前期で終了したこともあり、売上高は26億71百万円(前期比4.9%減)となりました。

CSRへの取り組み

昭和産業グループは「人々の健康で豊かな食生活に貢献する」ことにより、あらゆるステークホルダーから信頼を得られるようCSR行動規範を定め、企業の社会的責任を果たしていきます。この行動規範に基づき、現在取り組んでいる主な活動をご紹介します。

■ 安心・安全で高品質な製品の提供

原材料の調達から製造、出荷までの工程において、問題のあるものを持ち込まない・作らない・出さないという「非リスク3原則」を基本に、安心、安全な製造環境の構築を進めています。

こうした品質保証体制の構築のひとつとして、国際的な品質マネジメントの規格(ISO9000s)に取り組んでいます。1999年の鹿島工場での取得に始まり、各工場や部門で順次認証を取得、2005年にはISO 9001-2000年版の更新審査を全社統合システムとして受け、品質マネジメントシステムが確実に運用されていることが確認されました。



「ISO9001:2000認証書」

■ 公正な企業活動

経営環境の変化に対応できる体制の確立、経営の透明性を高めるための重要な課題が、コーポレート・ガバナンスの強化です。その方策として、内部統制システムの構築に努めています。2006年には「内部統制システム構築に関する基本方針」を定め、その方針に則り、課題の抽出や改善を行っています。

また、公正で透明性の高い企業経営のため「コンプライアンス基本方針」を定め、情報セキュリティの対策や、コンプライアンス教育の徹底・強化に努めています。

■ 人権尊重

仕事と私生活を両立できる職場環境作りの一環として、 男女が共に子育てに参画できる体制の整備を進めています。「次世代育成支援対策推進法」に基づいた『行動計画』で、男性社員の育児休業取得や、連続休暇制度の導入などの目標を設定し、達成。都道府県労働局長の認定を受けました。

また、女性の活躍に向けた施策や、障がい者の積極的な雇用など、誰もが平等に働ける職場環境の整備を推進しています。



「SHOWAウーマン・フォーラム」



「次世代認定マーク」

■ 環境への配慮

環境対策の柱のひとつ、地球温暖化防止に向けて、食品生産部門での2010年度の二酸化炭素排出量原単位を、2003年度と比べ6%削減することにより、1990年度並の原単位を目指しています。

生産部門では、廃棄物の削減やリサイクル、汚染防止、省資源など、多岐にわたる環境対策に取り組んでいます。 さらに、オフィスにおける環境活動では、チーム・マイナス6%に参加し、クールビズを始めとした節電など に取り組んでおります。

■ 社会への貢献

地域の方々との交流活動として、Jリーグ発足時(1993年)より、主工場のある鹿島を本拠地とする鹿島アントラーズに協賛、2006年度もオフィシャルスポンサーとして応援しています。茨城県内の小学生を対象とした「鹿島アントラーズふれあいサッカー教室」を実施するなど、さまざまな形でサッカーを楽しんでいただきました。

地域活動として他にも、社員による事業所周辺の 清掃や、環境保全に取り組んでいます。また、国連 WFP協会への寄付金協力などの社会貢献活動も推進 しています。







アナリスト説明会

■ ステークホルダーとの対話・情報開示

株主・投資家の皆様に向けて、適時・適切な情報開示のため、当社ホームページへの掲載や、東京証券取引所と大阪証券取引所の提供する「適時開示情報閲覧サービス」を通して、迅速かつ透明性の高い情報開示を進めています。

また、年2回開催する機関投資家・証券アナリスト向け決算説明会など対話の機会を設け、積極的なコミュニケーションに努めています。

News おいしさアップして 登場の新製品です!

人気のお好み焼粉に新シリーズ! <mark>ふっ</mark>くら感と、だしの味わいにこだわりました。

お好み焼きは、手軽にできておいしい、家庭で人気の手作りメニュー。その決め手となるのが、できあがりの「ふっくら感」と、だしの味わいです。このお客様ニーズにお応えする2商品をこの春から新発売。充実したラインナップで、ご家庭のお好み焼きをもっとおいしく、手軽にお楽しみいただけます。

お好み焼粉



内容量:500g 希望小売価格:265円(税別)

●家庭でも簡単に仕上がりふっくら

ご家庭でも簡単にお店のような「ふっくら感」が出せるよう、国産の山芋を使い、素材の配合にこだわりました。鰹、宗田鰹、鯖ぶしに昆布と野菜エキスのだしで、味つけもしっかり。キャベツや肉など、ご家庭にある材料と混ぜるだけで、手軽においしいお好み焼きが作れます。たっぷり使える大容量サイズです。

お好み焼粉 浪花



内容量:540g (180g×3袋) 希望小売価格:290円 (税別)

●本場関西風こだわりのだし

鰹や昆布など基本のだしに、いりこ、むろ鯵ぶしを加えてコクと深みを追求しました。本場、関西の味に迫る、風味豊かなお好み焼きを楽しめます。2種類の小麦粉と山芋をバランスよく配合し、焼き上がりはふっくら、しっとり。4枚分を1パックにした使い切りサイズだから、保存に便利でいつも新鮮です。

●商品に関するお問い合わせ先●

お客様相談センター

200120-325-706

受付時間:平日午前9時から午後5時まで

安心・安全な製品をお届けするために



AIBフードセーフティ監査で鹿島製粉工場が

3年連続の最高評価



取り組み強化で各工場でも高評価を取得

製品の安心・安全の向上として、当社はAIB(American Institute of Baking)フードセーフティ監査を、2005年より受けています。この2007年3月の監査で、鹿島工場製粉部門が、3年連続で最高位の「SUPERIOR」評価を受けました。

また、2007年からは鹿島工場以外にも、神戸製粉工場など5つの工場や会社でも受審し、すべて「EXCELLENT」の高評価となりました。

この監査制度は、安全な食品製造のための「AIB食品安全統合基準」に則っており、50年以上前にアメリカで始まったものです。権威の高い評価制度として、現在は世界80カ国で認知されています。こうした制度を活用し、食品安全管理体制をさらに強化・充実させ、安心・安全な製品をお届けしてまいります。

〈2007年度に受審した工場名と評価〉

	昭和産業㈱		SUPERIOR(3年連続)
		神戸製粉工場	EXCELLENT
ı		船橋製粉工場	EXCELLENT
		潮来プレミックス工場	EXCELLENT
		船橋パッケージセンター	EXCELLENT
	木田製粉㈱	(札幌市)	EXCELLENT

※「SUPERIOR」:1000点満点で900~1000点 [EXCELLENT]:1000点満点で800~895点





-

(単位:百万円)

●連結貸借対照表

(単位:百万円)

		(単位:白万円
科目	当期末	前期末
	平成19年3月31日現在	平成18年3月31日現在
資産の部		
流動資産	50,965	45,371
固定資産	96,100	96,521
有形固定資産	75,695	76,014
無形固定資産	424	450
投資その他の資産	19,981	20,056
資産合計	147,066	141,892
 負債の部		
流動負債	60,118	57,610
固定負債	34,930	31,863
負債合計	95,049	89,474
少数株主持分		22, 11
少数株主持分	_	975
資本の部		
資本金	_	12,778
資本剰余金	_	9,007
利益剰余金	_	23,757
その他有価証券評価差額金	_	5,947
自己株式	_	△ 47
資本合計	_	51,442
負債、少数株主持分及び資本合計	_	141,892
純資産の部		
株主資本	45,725	_
資本金	12,778	_
資本剰余金	9,007	_
利益剰余金	24,004	_
自己株式	△ 63	_
評価・換算差額等	5,437	_
その他有価証券評価差額金	5,428	_
繰延ヘッジ損益	9	_
少数株主持分	853	_
純資産合計	52,017	_
負債及び純資産合計	147,066	_

●連結損益計算書

少数株主損失

当期純利益

 料
 前
 期

 平成18年4月1日から
 平成17年4月1日から

 平成19年3月31日まで
 平成18年3月31日まで

 売上高
 177,668

 175,372

売上高 売上原価 144.915 141.070 売上総利益 32,752 34,301 販売費及び一般管理費 28,739 28,484 営業利益 4.013 5.816 営業外収益 1,144 1,117 1.553 営業外費用 1.655 経常利益 3.501 5.381 特別利益 334 1.374 1.913 特別損失 1.041 税金等調整前当期純利益 2.795 4.842 法人税、住民税及び事業税 1,504 1,357 法人税等調整額 267 262 少数株主利益 17

(百万円未満は切捨表示しております。)

3.204

34

1.057







●連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当期 平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで	前 期 平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,653	8,959
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,722	△ 5,087
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,956	△ 3,269
現金及び現金同等物の増減額	△ 1,112	602
現金及び現金同等物の期首残高	4,213	3,610
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	443	_
現金及び現金同等物の期末残高	3,544	4,213

(百万円未満は切捨表示しております。)

●連結株主資本等変動計算書(当期平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本評価・換算		・換算差	額等						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	少数株主持分	純資産合計
平成18年3月31日残高	12,778	9,007	23,757	△ 47	45,495	5,947	_	5,947	975	52,418
当連結会計年度中の変動額 剰余金の配当 利益処分による役員賞与 当期純利益 連結子会社の増加に伴う剰余金の増加高 自己株式の取得			△ 1,082 △ 2 1,057 274	△ 16	△ 1,082 △ 2 1,057 274 △ 16					△ 1,082 △ 2 1,057 274 △ 16
株主資本以外の項目の 当連結会計年度中の変動額(純額)					_	△ 519	9	△ 510	△ 121	△ 631
当連結会計年度中の変動額合計	_	_	247	△ 16	230	△ 519	9	△ 510	△ 121	△ 400
平成19年3月31日残高	12,778	9,007	24,004	△ 63	45,725	5,428	9	5,437	853	52,017





-

●貸借対照表

(単位:百万円)

		(単位・日万円)	
科目	当期末	前期末	
	平成19年3月31日現在	平成18年3月31日現在	
資産の部			
流動資産	35,860	32,316	
固定資産	78,385	78,426	
有形固定資産	58,419	58,703	
無形固定資産	256	304	
投資その他の資産	19,709	19,418	
資産合計	114,246	110,742	
負債の部			
流動負債	38,963	36,648	
固定負債	25,337	23,684	
負債合計	64,300	60,332	
資本の部			
資本金	_	12,778	
資本剰余金	_	9,007	
利益剰余金	_	22,803	
その他有価証券評価差額金	_	5,867	
自己株式	_	△ 47	
資本合計	_	50,409	
負債及び資本合計	_	110,742	
純資産の部			
株主資本	44,579	_	
資本金	12,778	_	
資本剰余金	9,007	_	
利益剰余金	22,858	_	
自己株式	△ 63	_	
評価・換算差額等	5,365	_	
その他有価証券評価差額	金 5,359	_	
繰延ヘッジ損益	6	_	
純資産合計	49,945	_	
負債及び純資産合計	114,246	_	
	/	I = 10 + = 1	

●損益計算書

(単位:百万円)

科目 	当期 平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで	前 期 平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで
売上高	114,010	114,663
売上原価	89,857	88,997
売上総利益	24,153	25,665
販売費及び一般管理費	20,338	20,964
営業利益	3,814	4,701
営業外収益	811	982
営業外費用	1,171	1,264
経常利益	3,454	4,419
特別利益	328	1,350
特別損失	1,391	2,410
税引前当期純利益	2,391	3,359
法人税、住民税及び事業税	1,181	1,114
法人税等調整額	73	297
当期純利益	1,137	1,947
前期繰越利益	_	2,085
当期未処分利益	_	4,032
	/TTM+***	1744+=1 746++ \

(百万円未満は切捨表示しております。)

会社の概要(平成19年3月31日現在)





■設立 昭和11年2月18日 ■資本金 12,778,008,177円

■従業員数 1,049名 ■本社所在地 〒101-8521

東京都千代田区内神田2-2-1 鎌倉河岸ビル

■事業所

大阪支店/名古屋支店/仙台支店/札幌支店 福岡支店/広島支店/関東信越支店/千葉出張所 南九州出張所/鹿島工場/神戸工場/船橋工場 総合研究所/食品開発センター

■役員(平成19年6月28日現在)

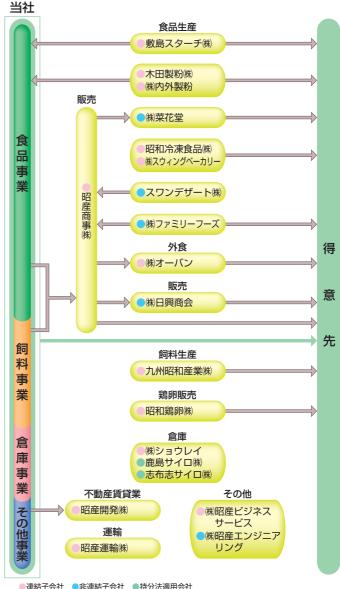
● 取締役および監査役

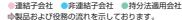
取締役会長 福井茂雄 (代表取締役) 取締役社長 横澤下克 (代表取締役) 専務取締役 栗原忠夫 常務取締役 金 澤 多計志 常務取締役 信岡 正 治 常務取締役 御法川 修 潤 常務取締役 佐久間 監査役(常勤) 細川純 治 監査役(常勤) 小 島 幸 弘 監 中台 弘 杳 役 好 監 杳 役 宍 戸 敏 雄

● 執行役員

執行役員 石 居 義 生 富 男 執行役員 \mathbf{H} 中 執行役員 郎 小 川 敏 執行役員 出 \mathbf{H} 茂 執行役員 宮 哲 爾 兀 執行役員 村井 眞 哉 執 行 役 員 笠 井 敏 旆 執行役員 中井千 晃

■グループの概要











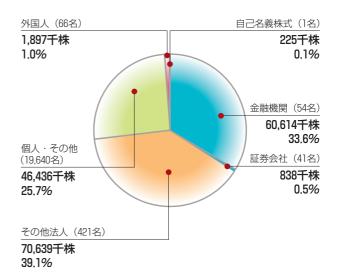
■株式の状況

発行可能株式総数720,000,000株発行済株式の総数180,649,898株株主数20,223名

■大株主(上位10名)

株 主 名	所有株数	出資比率
伊藤忠食糧販売株式会社	17,372,000株	9.61%
双日株式会社	11,525,016	6.37
日本興亜損害保険株式会社	8,545,501	4.73
株式会社千葉銀行	7,875,528	4.35
三井物産株式会社	7,700,000	4.26
農林中央金庫	5,515,396	3.05
東京海上日動火災保険株式会社	5,169,328	2.86
ユアサ・フナショク株式会社	5,165,600	2.85
株式会社カーギルジャパン	4,701,000	2.60
株式会社みずほ銀行	4,596,582	2.54

■所有者別株式分布状況



■株価と出来高の推移





株主優待制度のお知らせ

当社では、株主様へのご優待サービスとして、年1回、自社製品をお送りしております。ご家庭の食卓で「日本をおいしくするSHOWA」の味をお楽しみください。

- ◆対象は毎年基準日(3月31日)時点で、1,000株以上 保有の株主様に対し、自社製品を以下の基準により 贈呈いたします。
- ◆お届けは毎年7月上旬になります。



5,000株以上保有の株主様→5,000円相当の自社製品を贈呈。

1,000株以上5,000株未満保有の株主様→2,000円相当の自社製品を贈呈。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月中

公告の方法 日本経済新聞に掲載

基準日 3月31日

株主名簿管理人 〒100-8212

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 〒137-8081

東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

∞0120-232-711

同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 各支店

野村證券株式会社本店・支店

○株式関係のお手続用紙のご請求は、次の三

菱UFJ信託銀行株式会社の電話およびイン

ターネットでも24時間承っております。

500120-244-479(本店証券代行部)

■0120-684-479(大阪証券代行部)

http://www.tr.mufg.jp/daikou/

1単元の株式数 1,000株

シェフの

SHOWAから商品を使った簡単レシピのご紹介です。

「ひまわりネットhttp://www.himawarinet.com」では、レシピの紹介や各種キ **おすすめレシピ** ャンペーン情報など盛りだくさんでお届けいたしております。 みなさん是非一度アクセスしてみてください。

▶アボカド豆腐のクリーミーパスタ●



● 4人分 ●

320 g
1 個
8~12本
1/4丁(75g)
1カップ

塩	適量
こしょう	適量
スモークサーモン	8枚
本わさび(あれば)	少量

シェフのお勧め言 カロリーが気になる がしますすめの、方にもおすずめの、 生クリームと豆腐が ナノノのヘルシーな かり一ムパスタです。

シェフのコッ

アボカドのコクとス モークサーモンの風 味がおいしさのアク

シェフのひと工夫

パスタは濃厚なソースに ぴったりの1.8mmのものを 使用。「昭和食感をたのし むスパゲッティ」をチョ イスすれば、食べ応えの あるもちもちとした食感 をお楽しみいただけます。

● 作り方 ●

- ①たっぷりの沸騰湯に塩少量(分量外)を加え、「**昭和食感をたのしむ** スパゲッティ1.8mm」を入れてくっつかないようにかき混ぜ、強火 で10分ゆでてざるにあげます。途中でアスパラガスも入れて色よ くゆで、とり出します。
- ②アボカドは縦半分にして種と皮を除き、フォークなどでよくつぶし、 豆腐を加えてなめらかになるまで混ぜ合わせます。フードプロセッ サーにかけると手軽です。
- ③なべに牛クリームを入れて煮立て、②を加えて混ぜ、再び煮立った ら塩とこしょうで調味します。
- 43にゆでたスパゲッティを加えて手早くあえ、器に盛ります。一口 大にちぎったサーモンをのせ、わさびを薄く削ってのせ、アスパラ ガスを添えます。

昭和産業株式会社

〒101-8521 東京都千代田区内神田二丁目2番1号 鎌倉河岸ビル TEL. 03 (3257) 2011 FAX. 03 (3257) 2180 http://www.showa-sangyo.co.jp

